

令和8年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立三和小学校

校 長 名 佐々木 孝

I 学校の状況

学級数	7学級	児童・生徒数	54人	教職員数	12人
メールアドレス	miwa-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/miwa				

II 学校教育目標

【小中一貫教育目標～みよし結芽人～】

「高い志をもち 夢と目標の達成に向けて 挑戦する三和の子ども」の育成

【三和小学校教育目標】

「自分らしさを育てる ～ 気付く・伸ばす・磨く～」

○ともに学び合うなかで「自分らしさ」を育てる子

- ・いろいろな挑戦するなかで「気付く」
- ・ねばり強く続けるなかで「伸ばす」
- ・「なりたい自分」に向かって「磨く」

III 使命・存在意義（ミッション）

本校は、児童が「自分らしさ」を発揮し認め合える学びの場を提供し、ともに学び合う教育活動を推進することで、児童に生きる力（資質・能力）を育むことを使命とし、学校と家庭・地域が連携・協働し、三和の材（人・もの・こと・課題）を活用した教育課程を工夫することで、地域文化の継承やふるさと三和（三次）に誇りを持つ子どもを育てる。

IV 重点事項（努力点）

【三和小・中学校で9年間を通して形成する資質・能力と＜重点＞】

- ・知識を生かし深める力（知識・理解） <概念的理解>
- ・ともに考え、伝え合う力（思考力・判断力・表現力等） <表現力>
- ・自ら関わり学び続ける力（学びに向かう力・人間性等） <自己調整力>

【努力点】

- ・学校は、児童が自己調整力を発揮し、主体的・対話的で深い学びを通して基礎的・基本的な学力を身に付ける学習環境を創意工夫する。（研究教科：算数科）
- ・学校は、児童が「安全・安心」に過ごせる場、自他の「自分らしさ」を認めて学び合う場になるように、特別支援教育の視点に立った教育環境づくりに努める。
- ・学校は、児童が自己指導能力を培うように、特別活動等の充実に努める。
- ・学校は、児童が基本的な生活習慣の確立と健康や体力を改善する実践力・判断力を伸ばす場とする。
- ・学校は、CSの取組を通して小中一貫教育の充実に図り、学校運営協議会と連携して9年間を見通した教育活動を推進し、地域とともにある学校づくりに努める。

V 中心価値・行動規範

○教育の原点『児童は、私達の姿を見て育ちます』

熱意を持って事にあたり、誠意を持って児童に接し、創意を持って指導に臨みます

- ・使命：私達は、児童を守り育てます。
- ・遵法：私達は、法令を遵守し、職務に専念します。
- ・公正：私達は、不祥事を許しません。
- ・公開：私達は、地域とともにある信頼される学校にします。

Ⅵ 現状分析

【学力】

①学力定着状況

市学力到達度検査結果：全国平均以上の項目数（3年～6年国語・社会・算数・理科）

結果	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全国平均以上	13／16学年（約81%）	14／16学年（約87%）	6／16学年（約37.5%）

全国学力調査 「通過率の本校・広島県・全国の経年比較」（国語・算数）

対象	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数
全国比	67%（±0）	53%（-9.5）	69%（+1.3）	62%（-1.4）	69%（+1.8）	54%（-4.8）

▲市検査では全国平均を大きく下回った学年が多かった。知識の構造化が不十分である。

▲「思考力・判断力・表現力等」の指導に課題。思考の言語化を重点的に取り組む。

②児童アンケート「主体的・対話的で深い学び」の肯定的回答の割合

年度	肯定的回答	目標値	到達度
令和5年度	73%	70%	+3P
令和6年度	77%	80%	-3P
令和7年度	76.2%	80%	-3.8P

▲令和7年度も目標値を下回った。評価シートにより学びの振り返りを重視する取組を継続してきたが、問題解決の方法について自分で見通しを持つことが難しい児童が一定数いる。解決の方法を予想する活動を意図的に仕組みたい。

▲「振り返り」の言語化を行い、知識の概念化を進めていくことで、「考えることができた」「分かった」という学びの実感を持たせる。

【生徒指導状況】

③生徒指導上の諸課題

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
暴力	0件	4件	1件
いじめ	0件	2件	2人
長期欠席	3人	3人	3人
不登校	2人	0人	1人

○児童は概ね安心して登校している。児童の思いやつぶやきを大切にしたい学級経営や振り返りを重視した授業づくりの成果と考える。

▲落ち着いて学校生活に臨むことができない状況が見られる。家庭背景や交友関係、コミュニケーションのトラブル等、児童個々に状況が異なるため、実態に即した指導を継続する。

▲「安全・安心」な居場所として校内支援ルームを確保し、自分のペースで学校生活を過ごす体制を継続し、全ての児童の学びを保障していく。

【健康・体力】

④体力向上 新スポーツテスト結果・全国平均以上の項目数（1年～6年男女計12項目）

年度	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	ソフトボール 投げ
令和5年度	12/12	9/12	10/12	7/12	9/12	10/12	5/12
令和6年度	7/12	9/12	11/12	10/12	8/12	10/12	6/12
令和7年度	11/12	4/12	8/12	10/12	4/12	7/12	8/12

▲「持久力」「筋力」については、取り組んでもすぐには改善されない。長期的な取組により向上させていく必要がある。次年度は縄跳びによる全身運動を通年で行う。

▲児童が自分の体力向上について、目標を立てて主体的に取り組むよう見える化を図る。

⑤健康の状況

- ▲基本的生活習慣の確立には一定の成果が見られるが、メディアコントロール意識（就寝前 30 分でのメディア利用）が低く、睡眠時間の量と質に大きな課題がある。
- ▲齲歯保有率は低いが、歯肉炎への理解や正しい歯磨きの継続が必要である。

【信頼される学校づくり】

⑥保護者アンケート 「満足度」「信頼度」の肯定的回答の割合

年度	肯定的回答	目標値	到達度
令和 5 年度	97%	85%	+ 12 P
令和 6 年度	95%	90%	+ 5 P
令和 7 年度	96%	90%	+ 6 P

- 保護者からは、概ね信頼を受けている。
- ▲学校や教職員の児童理解への不安を抱いている保護者が、少なからずいる。児童の様子を多面的に把握するとともに、保護者の思いを受けとめて児童の育成を図る。
- ▲アンケート項目を適正に評価するためにも取組状況を十分に周知する必要がある。

⑦C S の推進状況

- 保護者や運営協議委員による学校参画の取組が進んでいる。（MK S 活動）
- 運営協議委員と目指す児童の姿について熟義が定例化した。
- 地域の方と一緒に児童の学びを創り出す地域学校協働活動も実施している。
- 学校便りを地域全戸配布したり、告知放送をしたりと、積極的に情報を発信している。
- ▲地域資源を有効活用した単元づくりを進め、児童が探究を通して故郷に誇りを持つようにしたい。

⑧時間外在校時間

- ▲全体的には退校時間を意識した業務を行っているが、業務を平準化し、全ての教職員の時間外在校時間の短縮を目指す。MK S を活用した業務軽減を実働化させていく。

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期 経営目 標	短期 経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標 値
確かな学力の育成	自己調整力の育成	(1) 学力の向上 (算数科を中心にして)	■「見通し」「対話」「振り返り」を工夫した授業改善	○学力調査等結果(算数科) ・単元末テスト 各学年 平均点7割以上 ※参考資料 ・ノートの記述 ・市学力到達度検査第目標値(5年) ・全国学力・学習状況調査全国比(6年) ○児童アンケート ・該当項目の肯定的回答の割合 「見通しを持って問題を解決している」 「式・図・表・言葉などを用いて考えをまとめたり伝えたりしている」 「学習を振り返り、次の学習に生かしている」 ※参考資料 ・評価シートの記述 ・児童アンケート「ICT活用」の結果	70%
		(2) 学びを支える 読書活動の 推進	■「算数タイム」の計画的実施 ■読書貯金の実施 ■読書対話の実施	○児童アンケート ・該当項目の肯定的回答の割合 「読んだ本について紹介したり話をしてしている」 ※参考資料 「読書量月2冊」85% 「家庭読書」50%	70%
豊かな心の育成	自己指導能力の育成	(3) 自己存在感や自己決定を大切に した共感的な人間関係の育成	■安心・安全な風土の醸成 ・体験的な活動とふりかえりの充実を通じた成功体験の獲得 ・構成的グループエンカウンターによる人間関係形成能力の育成	○児童アンケート ・該当項目の肯定的回答の割合 「行事や活動の中で、達成感を感じることができましたか」 「友達と協力して活動できましたか」 ※参考資料 ・行事ごとのふりかえりシート ・生活アンケートの記述 ・長欠、不登校児童数 ・いじめ認知件数	80%
健やかな体の育成	自らの成長・健康の保持増進に取り組む子供の育成	(4) 基本的な生活習慣の確立と、健康や体力向上の実践力・判断力の育成	■体力づくりの充実 ・年間縄跳び等 ・生活習慣の確立 「振り返りシート」を活用した、運動習慣や生活習慣の振り返りの充実	○新体力テスト結果 ・全国平均以上の項目の割合 ※参考資料 ・個人の経年比較 ・生活づくり習慣の結果	75%
信頼される学校づくり	保護者や地域・関係機関と協働する学校	(5) 地域とともにある学校づくり	■地域の材(人・もの・こと・課題)とつながる開かれた教育課程 ■学校便り、学級便り等での積極的な情報発信	○保護者アンケートの肯定的回答の割合「満足度」「信頼度」 「子供が進んで活躍する場を設定している。」 「安心・安全な学校づくりに努めている」 「保護者や地域の思いを反映し、教育活動に取り組んでいる」	90%
		(6) 働き方改革の推進	■業務改善の推進 ・定時退校(月曜日) ・毎月の業務改善	○定時退校の達成度 ○時間外勤務が月平均30時間以内	80%